※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「　書Ⅲ　」　（光村出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これまでの書道における表現と鑑賞の幅広い活動を通して深めてきた理解や技法をもとに、主体的な創造活動を行います。自らの施行や個性を書で表現する楽しさを学びましょう。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統と文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書の能力を高める。(a)書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。(b)書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。(c)主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な書表現をするために、書の表現の方法や形式、多様性についての基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技術を身に着けている。	書の良さや美しさを感受し、感性をはたらかせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現の工夫をしている。	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	漢字の書の美と文化	・臨書や鑑賞を通じて、各古典の用筆法・運筆法や、表現の特徴を理解し、自らの意図や感動を表現できる技法を習得する。 ・主体的に習得した技法を用いて創造活動に取り組む。 ・創造した作品を鑑賞しあおう。 ・作品展への出品を目指す。	a:基礎的な能力を身に着け、効果的な表現の技法を用いることができる（技） b:古典のよさや美しさを感受し、意図に基づいた表現の工夫がされている。 b:書の良さや美しさを創造的に味わっているか。（鑑） c:書に関心を持ち、主体的に活動に取り組んでいるか。（主）	作品	プリント	振り返り プリント 観察
2学期	仮名の書の文化と伝統	様々な古筆の特徴を理解し、意図や感情を表現できる技法を習得する。 臨書や鑑賞を通じて、用筆法や運筆法を理解し、主体的に創造活動に取り組む。 創造した作品を鑑賞しあう。	a:基礎的な能力を身に着け、効果的な表現の技法を用いることができる（技） b:古典のよさや美しさを感受し、意図に基づいた表現の工夫がされている。 b:書の良さや美しさを創造的に味わっているか。（鑑） c:書に関心を持ち、主体的に活動に取り組んでいるか。（主）	作品 作品	プリント プリント	振り返り プリント 観察 振り返り プリント 観察
	創作	自己の表現を求め、自らの思考や感動を表現する語句と書表現の関係について考える。 用具・用材による表現の変化を楽しみ、創造的表現を工夫する。	a:基礎的な能力を身に着け、効果的な表現の技法を用いることができる（技） b:古典のよさや美しさを感受し、意図に基づいた表現の工夫がされている。 b:書の良さや美しさを創造的に味わっているか。（鑑） c:書に関心を持ち、主体的に活動に取り組んでいるか。（主）	作品	プリント	振り返り プリント 観察

※令和４年度以降入学生用

3学期	創作	自己の表現を求め、自らの思考や感動を表現する語句と書表現の関係について考える。 用具・用材による表現の変化を楽しみ、創造的表現を工夫する。	a:基礎的な能力を身に着け、効果的な表現の技法を用いることができる（技） b:古典のよさや美しさを感受し、意図に基づいた表現の工夫がされている。 b:書の良さや美しさを創造的に味わっているか。（鑑） c:書に関心を持ち、主体的に活動に取り組んでいるか。（主）	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度